

かわねほんちょう 議会だより

第40号

平成27年11月発行

発行 / 川根本町議会
編集 / 議会だより
編集委員会



○ 8月10日 当町初の「子ども議会」が開かれました ○



* も く じ *

- ◎新正副議長・議会構成が決まりました … 2～ 3
- ◎平成26年度町会計決算を認定 …… 4～ 6
- 9月定例会で決まったこと …… 7
- ◎一般質問 ～5人の議員が登壇～ …… 8～12
- 3町議会議員研修会の報告 …… 13
- 議会日誌・編集後記・12月議会日程 …… 14

新しい町議会の構成が決まりました

10月21日、平成27年第3回臨時議会が開催されました。現職正副議長の辞職を受け、選挙を行った結果、新しい議会議長・副議長が決まりました。また、各委員会委員の任期満了（2年）に伴う議会構成の変更、一部事務組合議会議員の選挙も行われました。

議長あいさつ

川根本町議会議長

太田 侑孝



10月21日の臨時議会の議員選挙により、議長に選任されました。職責の重さを痛感し身の引き締まる思いです。

4年間の議員任期の折り返し時期であります。行政との両輪として公明正大、活発な議会運営を目指したいと思います。

少子高齢化と人口減少、茶業、観光業の低迷等々、先が見えない不安と困難な課題が多くあります。これらの重要課題を議員が共有化し、情報・資料・協議・発言・提案の確立が個々人に必須であります。このことよって議会の充実度を高めると考えます。

課題の一件毎に丁寧な協議を重ね、議論を深めながら負託に応えて行きたいと思えます。

副議長あいさつ

川根本町議会副議長

中澤 莊也



10月臨時会において行われました正副議長の改選によりまして、副議長の要職を務めさせていただくことになりました。

太田議長の補佐役とし「開かれた議会」「信頼される議会」を第一に議会の改革に取り組みとともに、議会は言論な府であるという認識のもと、自由闊達な議論が展開されるよう努めてまいります。

超少子高齢化に伴い発生してきます様々な地域課題に対し、多くの皆様方から負託を受けた者として、「だれもが安心・安全に、自分らしく暮らせるふるさと」の具現化のため、全身全霊を傾けて努力してまいります。

今後とも、町民の皆様方には、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

町長あいさつ

本町には、ユネスコエコパークの登録や日本で最も美しい村連合への加盟など、世界が認めたい宝があります。

この町を誇りに思い、後世に引き継ぐ責務を果たすため、豊かな自然と生活文化の調和を目指す景観条例の整備など、これからも議会の皆さんとともに全力でまちづくりに取り組んでまいります。

川根本町長 鈴木 敏夫

本臨時会では議会構成のほか補正予算1件、請負契約1件が町長から提出されました。質疑の後、討論はなく、2議案とも原案通り可決されました。

補正予算

◎平成27年度一般会計

補正予算(第4号)

…全員賛成で可決

補正後の額

72億1448万1千円

(7580万円の増額)

「あかいしの郷」増床計画に伴う予定敷地隣接地の間伐委託、造成工事請負費の追加、林道維持管理委託料等の追加です。

工事請負契約

◎工事請負契約の締結

について

(仮称)若者交流センター建設工事

…全員賛成で可決

《契約先》

大河原・富田特定建設

工事共同企業体

《請負金額》

2億844万円

《工期》平成28年3月

18日(予定)

第一常任委員会

総務課・企画課・税務課・福祉課・生活健康課に関する事項、他の常任委員会に属さない事項の調査研究を担当します。(6名)



第二常任委員会

産業課・建設課・商工観光課・教育委員会に関する事項について、調査研究を担当します。(6名)



議会運営委員会

議会や委員会の条例・規則、本会議の日程や審議方法、意見書や請願の取り扱い等、議会運営に関する事項を決定する重要な組織です。(正副議長除く5名)

委員長 小藪侃一郎 委員 芹澤 廣行
副委員長 中田 隆幸 委員 藪田 靖邦
委員 鈴木多津枝

一部事務組合議会議員の選挙

四市二町(焼津・藤枝・島田・牧之原・吉田・川根本町)で構成する駿遠学園管理組合議会議員の選挙(議長の指名推薦)が行われました。
◎駿遠学園管理組合議会議員 中田 隆幸

議会広報委員会を設置

本会議で決まった町の施策や議会の活動内容を町民にお知らせし、町政や議会に対する理解を深めることは議会の重要な役割です。この度、本町議会では「議会広報委員会」を設置し、「議会だより」の編集・発行のほか、ホームページの編集や議会報告会の開催など、議会が町民の皆様身近に感じていただけるような活動をして行きたいと思っております。

委員長 中澤 莊也 委員 根岸 英一
副委員長 鈴木多津枝 委員 坂本 政司
委員 中田 隆幸

平成26年度一般会計 ・ 特別会計決算を認定

9月15日から17日に行われた決算特別委員会では、事前に抽出した昨年度の事業を中心に、事業実委員からは活発な質疑や意見等が出され充実した委員会となりました。

績や効果などの説明を担当課から受けました。昨年までに比べ3日間という短い審査期間でしたが、

☆5年間の基金残高と起債残高の推移

(単位：千円)

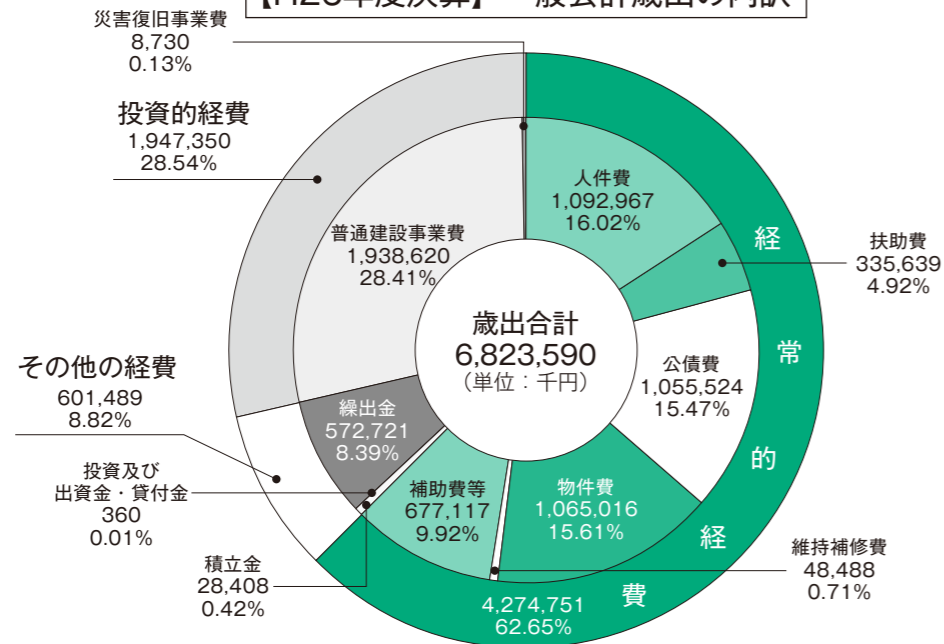
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
財政調整基金残高	1,450,863	1,451,325	1,679,998	1,680,733	1,681,802
減債基金残高	47,721	47,731	93,565	464,966	94,074
国民健康保険給付等支払準備基金残高	173,470	138,578	132,003	83,037	96,958
簡易水道基金残高	101,784	90,436	80,315	68,293	41,794
温泉事業基金	9,951	9,954	9,956	9,959	9,961
起債残高	6,292,463	5,957,223	5,527,109	5,006,106	5,302,364

☆5年間の町税の推移

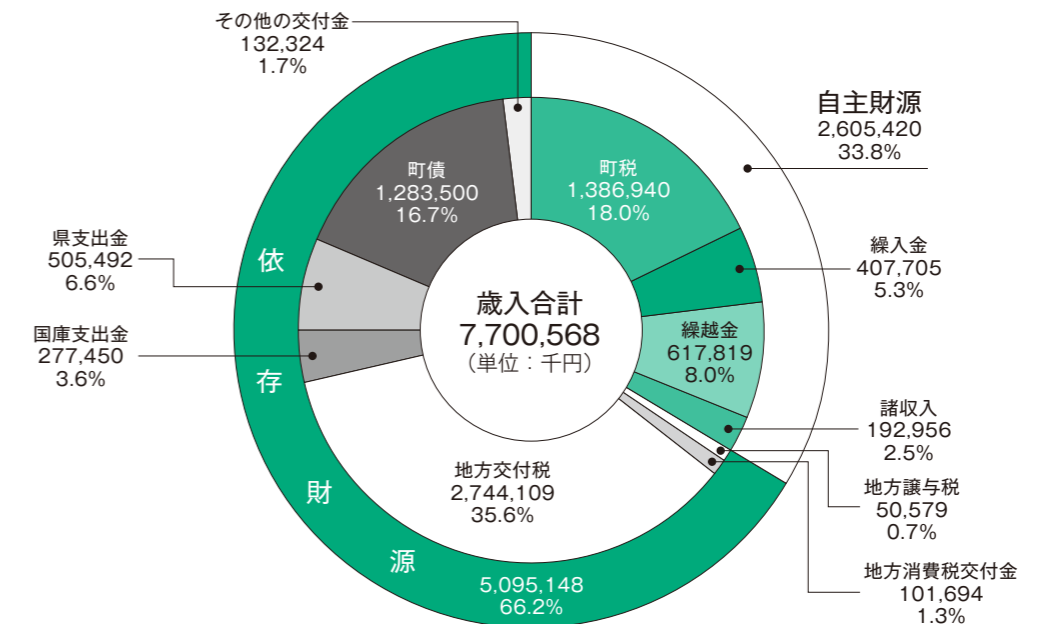
(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
町民税	385,022	336,478	296,833	302,038	294,537
固定資産税	936,467	937,801	903,944	1,018,510	1,034,079
軽自動車税	20,454	20,683	20,909	21,237	21,594
町たばこ税	26,721	29,893	29,758	33,136	31,391
入湯税	6,712	5,455	6,997	5,614	5,339
歳入合計	1,375,376	1,330,310	1,258,441	1,380,535	1,386,940

【H26年度決算】一般会計歳出の内訳



【H26年度決算】一般会計歳入の内訳



☆特別会計歳入歳出決算認定

(単位：千円)

		国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	簡易水道	温泉事業	いやしの里診療所
歳入決算額	25年度	1,040,322	114,710	1,170,780	285,234	24,761	45,477
	26年度	964,932	119,381	1,179,208	273,978	39,014	39,294
歳出決算額	25年度	965,050	114,431	1,136,794	284,352	24,641	45,425
	26年度	904,800	119,321	1,161,364	270,509	38,913	39,192
繰越額	25年度	75,272	280	33,986	883	120	52
	26年度	60,132	60	17,844	3,469	101	103
26年度当初予算額		1,064,047	127,000	1,268,380	290,996	44,306	42,730



農林業センターでは茶の品種研究が行われている
(産業課・茶業推進対策関係)



支援センターとして利用されている
(「元地名保育園」)
(福祉課・子育て支援対策関係)

〈審査日〉平成27年9月15日（火）～17日（木）
**平成26年度一般会計と特別会計を
 原案のとおり認定！**



決算特別委員会審査
 （中澤・鈴木正副委員長）

決算の内容等について慎重に審議

9月1日初日の本会議終了後、決算特別委員会（議長を除く11名）が設置され、委員長に中澤莊也第二常任委員長が、副委員長に鈴木多津枝第一常任委員長が選任されました。

委員会の審査は、委員からの意見や要望等が次年度の予算に反映されるよう、主要事業の内容、効果、課題等を中心に、本年度は3日間という短い期間で行われました。

結果、反対討論があったものの、特別委員会に付託された全ての案件が原案のとおり認定されました。

委員会の中で審議された内容について、いくつかを抜粋してここに紹介します。

総務課

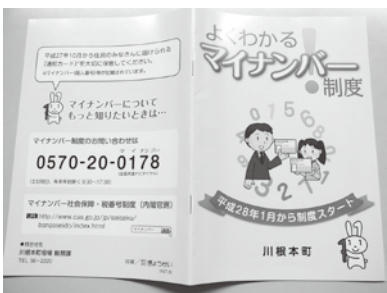
◎マイナンバー法導入
 整備事業

質問

マイナンバー法導入に伴う業務委託料中、「個人情報取り扱い業務洗い出し」とあるがどのような内容かどこにファイルしてあるのか、また、セキュリティは万全か。

回答

マイナンバー制度導入に伴い「特定個人情報保護評価」の対象となっている住民基本台帳法に関する事務予防接種法に関する事務など6項目の業務を行った。「特定個人情報」各世帯に配布されたパンフレット



企画課

◎まちづくり事業費

質問

緑のふるさと協力隊について伺う。

回答

平成27年度は町の希望と合わなかったが今後も継続していく方針は変わっていない。

◎高度情報基盤整備事業

質問

決算書の工事請負費の数値の説明をお願いしたい。

回答

15節工事請負費 8億1406万7720円

高度情報基盤整備

7億9100万円

運営事業者事務所整備

1228万9320円

「報保護委員会」という国の機関へ提出するもので、それまでは役場に保管しておく。平成26年度に行った事務事業の洗い出し作業に関するもので個人番号を取り扱ったものではない。

「町民が利用しやすい「かねフォン」の活用方法を



無線LAN整備工事

1077万8400円

質問

当初町は独居老人の安否確認や災害情報、教育への活用など様々な活用法を示していたのに、先日、利用検討委員会を傍聴した際にはまだ方向性が決まっていなかった。実際にかねフォンでの活用ができるのか。

回答

福祉課の緊急通報がかねフォンで可能かどうかの検討をしている。昨日の利用検討委員会でも各方面から

商工観光課

◎ユネスコエコパーク
 推進費

質問

エコパーク認定の町民間の温度差、拠点整備の具体策に関する町の考えを伺う。

回答

町民には原生保全林などのイメージが湧かない。今後ツアーの企画等広くPRしたい。

拠点整備のための特別な施設整備は現時点では考えていない。今後どのように町内外へエコパークの情報発信をしていくかが課題





定例会初日、決算審査意見を述べる柳原代表監査委員

9月定例会で決まったこと

平成27年第3回議会定例会が9月1日に開かれ、26年度決算認定など13件の議案が町長から提出されました。条例改正と補正予算については9日の本会議で原案通り可決されました。一般会計及び6つの特別会計決算は決算特別委員会で審査を行い、定例会最終日（30日）の採決の結果、全て認定されました。

補正予算

◎平成27年度一般会計補正予算（第3号）

…全員賛成で可決
補正後の額

71億3868万1千円
（4億5584万5千円の増額）

防災対策（役場本庁舎の蓄電池整備、防災Wi-Fiステーション整備）のための工事請負費、番号制度に係る住基・税務システム改修業務委託、農道・林道維持管理費用、若者交流センター工事請負費の増額が主なものです。

◎平成27年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

…全員賛成で可決
補正後の額

12億2143万8千円
（1913万8千円の増額）

介護給付費準備金積立金の増、一般会計へ

の繰出し金の増、前年度の事業実績に基づく国・県支出金、支払基金交付金及び支払基金の増額が主なものです。

◎平成27年度いやしの里診療所事業特別会計補正予算（第2号）

…全員賛成で可決
補正後の額

5千97万7千円
（35万7千円の増額）

条例関係

◎川根本町個人情報保護条例の一部改正

…賛成多数で可決

◎川根本町手数料徴収条例の一部改正

…賛成多数で可決

いずれも「マイナンバー法」の施行により12桁の個人番号が付されることに伴う改正です。本年10月以降、個人番号をお知らせする

「通知カード」が送付されると、「個人カード」の申請ができるようになります。これらのカードを紛失などした場合の再発行手数料を定める条例の改正等です。

人事案件

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

…全員賛成で同意
委員の任期満了に伴い、新しい固定資産評価審査委員会委員が選任されました。

羽倉範行氏（東藤川）

決算関係

定例会最終日、決算特別委員長報告の後、26年度町会計決算認定の採決を行いました。

一般会計と後期高齢者医療事業及び、介護保険事業の2つの特別会計は賛成多数、その他の特別会計は全員賛成で認定されました。

認定第1号
平成26年度一般会計決算認定に…

反対!!
一般会計決算に反対!
もっと議論を!もっと町民の声を!

当町の最大の課題は、人口減少に歯止めをかけ若者が定住したくなるまちづくり!そして安倍自公政権の消費税増税や物価高騰に苦しむ町民を守る!こと!住みよい町づくりが進んだ点は評価するが、高齢者に危険をもたらすマイナンバーに国言いなり姿勢や滞納者に悪質のレッテルを貼り年金差押えの一方で、赤字観光施設への注ぎ込み、町民の合意も図らず見切り発車した巨額な情報基盤整備の追加工事や後出し情報、若者住宅建設も地名保育園再開も、多子世帯の給食費・保育料軽減もなし。観光立町と言いつつトイレ整備も進まない等、町民の声にも町づくりにも逆行。

鈴木多津枝議員

賛成!!

平成26年度は一般会計とすべての特別会計は黒字であり、将来負担比率は将来負担額を充当可能財源額が上回っています。実質公債費比率も前年度より1.0ポイント改善し5.8%になり、実質赤字比率、連結実質赤字比率も、健全数値内です。歳入の「地方交付税」は昨年度比2億3532万円ほど減額となりました。必要最低限の施設整備にするとした町有光ファイバー高度情報基盤整備事業での維持管理運営費が増大にならない様に最大の傾注をして、来る平成32年度合併算定替え特例期限終了での減額を見据えて、町当局には、より一層の健全な財政運営を期待するところでは、

小藪侃一郎議員

問

- ◎かわねフォンの使用説明は十分か
- ◎段階的な利活用の取り組みについて
- ◎観光拠点の寸又峡温泉の再生戦略は
- ◎川根路にあった観光商品の開発について



野口 直次 議員

質問

高度情報基盤整備について①事業の見通し（工事完了）について。②管理運営業者との今後のスケジューリングについて。③かわねフォンを有効に利用していただく為の町民への説明方法について伺う。④今後の段階的な利活用の取り組みについて伺う。

町長

①10月中旬には、全町エリアで運用開始予定に向けて努力している。②仮運用している段階から、光ケーブルに関しては維持管理実施、工事中ですが完成している部分について中間検査を実施し請負業者からの引き渡しを受け、その一部を運営業者にIRU契約にて貸し出し、サービス提供を開始しております。③町全体を対象とした説明会を9月下旬から全5回、山村開発センターと文化会館

で行ない、かわねフォン使用方法に加え、ネットに関する質問に答えていきます。

企画課長

高齢者の方を中心に基本的な使用方法をサポートする為に、職員サポーターと各地区からの住民サポーターによる体制を取って行きます。

町長

④ICT利活用委員会の各委員からも提案を受け、より実現性の高い利活用の方法を具体化していく段階に入り、整備費用と維持管理費用のコスト計算、活用できる補助制度などを検討し、大きな財政負担にならないよう、町民生活向上の為に利活用を検討して行きたい。

質問

川根本町観光振興計画の事業の展開について①観光に関する現状と課題について伺う。本町の観光主要拠点である寸又峡温泉の

再生への戦略について。

②本町の観光の今後の重点的取り組み、施策を伺う。内容として、

多種多様な観光商品の開発状況、開発の為に先進地視察、また町歩き観光で以前整備された「まちかど博物館」の施策が基本計画から欠落している理由を含め、今後どのように進んで行くのか。③大鐵を含め交通環境の整備について、島田市が地域活性化交流拠点づくりを目的として整備された川根温泉ホテルの宿泊者等を、本町奥大井へ誘引する戦略について。また鉄道資源と

観光の強化及び住民の利便性向上につながる大鐵のライン強化は新しいタイプの観光商品にもなりえ

る。着地型観光を進める町の考えを伺う。

町長

温泉事業の再生は、本当に厳しい状況の中、SLとアプト式鉄道沿線の景観、渓谷をいかに全国に発信するか、来年は、事業に関係する各団体と連携し、アプトラインを中心とした誘客イベントをPRしたい。最近は体験型旅行のニーズも増加、町内にある資源、鉄道の利用、宿泊施設と組み合わせたい観光商品の何点かを志太榛原地域広域で検討し、年間を通じて誘客を増やしていきたい。寸又峡の再生にもつなげたい。



町内に建てられた無線局

答

- 職員地域サポーターによるサポート体制の確立へ
- 町民の生活向上のための利活用を検討する
- 魅力ある温泉地へ官民一丸で努力が必要に
- 鉄道を含めた体験型観光を整備したい



鈴木多津枝 議員

問

◎高齢者の目が輝く元気・安心のまちに
◎平和を守り、子育てしやすい町づくりを
◎臨時職員の待遇改善と正規職員への道を

質問 ①65才以上の介護保険料が県内最高の値上げで2番目に高くなった。高齢者の不安解消を。一般会計繰入をしている町もある。値上げを回避し安心して利用できる介護保険に。②要介護認定を受けても低所得者のサービス利用は少ないのでは。③国の制度改定で軽度者の介護サービスが市町村の事業となった。町の対応、人員確保は十分か。

町長 ①ルールに基づいて決めるが、他市町の一般会計からの繰入れについては検討する。当町のお達者度は男女とも上位。更に予防に力を入れ、高齢者が安心して住める町づくりを目指す。②適切なサービスが受けられるよう訪問・相談の上、本人の意思も考慮して適正に利用されている。③当町は来年4月から

実施。地域包括支援センターに看護師1名増員し5人体制とした。現在のサービスを低下させず、地域の多様なサービスも充実させて介護予防に努めたい。
質問 ①多くの国民の反対を押し切って成立した安保関連法は、戦後70年間、戦争放棄を誓った憲法9条を踏みにじり、日本が攻められてもいないのに海外へ自衛隊を派遣して武力行使できる「戦争法」で、当町議会でも「慎重審議を求める意見書」が出されたが、6対5で否決された。戦争で真つ先に犠牲となるのは子どもたち。町民の生命と財産を守る行政として議会が決議した「核兵器廃絶・平和のまち宣言」を生かした取り組みを。②「子どもの貧困」が社会問題として取り上げられている。1人親家庭では半数の子が、国全体では、子どもの6人に1人が貧困と言われ、昨年の19歳以下の自殺者数は538人に及び、国会でも超党派による「子どもの貧困対策法」



育て支援センターの様子(元藤川)

が制定され、地方創生の少子化対策の強化でも、「出生率向上には、若い世代の結婚・出産・子育て希望の実現に向け様々な支援が重要。国も地方公共団体と連携して取り組んでいく」と決意を示している。当町も保育料や給食費軽減など、子育てしやすい町、若者を呼び込む町づくりを。
町長 ①紛争を防ぐ法整備は必要と思うが憲法改正の手續きを踏むべき。議会の「核兵器廃絶・平和宣言」は、引き続き堅持し対応する。②給食費軽減は委員会へ諮問する。保育料軽減・乳幼児住宅訪問支援は今ままで、就学援助は周知に努める。
質問 ①住民サービスや町の最前線で汗を流す臨時職員の待遇改善を。②2年以上勤務のベテラン臨時職員に、正規職員の道を。
町長 ①4月1日現在66人の臨時職員がおり、一般職員に準ずる規定になっている。近隣市町の状況を踏まえ、環境改善も必要。②毎年行う職員採用試験を受験して欲しい。公平公正に対応する。

答

- 介護予防に力を入れ安心して住める町を目指したい
- 議会や委員会からのもっと活発な提言を期待する
- 規定により給与・手当支給している。35才未満なら職員採用試験の受験を

問

- ◎茶茗館・資料館やまびこのユネスコ
エコパーク情報発信基地としての整備等は
- ◎茶茗館の運営形態、飲食の提供は
- ◎桑野山貯木場の整備運営計画は



中澤 莊也 議員



「茶茗館」の今後の管理運営は…

質問 公の施設の管理運営等を問う。①「公の施設のあり方（答申）」に係る取り組み状況は。②答申に基づき施設のあり方等見直しするにあたっての課題や問題点は。③茶茗館・資料館やまびこのユネスコエコパーク情報発信基地としての整備、運営はどのように行っていくのか。④茶茗館の管理運営方法等（飲食の提供を含む。）について、関係課、商工観光委員会等で協議検討された内容は。⑤桑野山貯木場、ウツドハウスおろくぼ、白沢温泉もりのいずみの管理運営等についての考えは。

町長

①施設の担当課において、運営委員会等の意見を聴取するとともに、県内外の先進事例の調査・視察を行いながら施設のあり方を検討してきた。②地元地区の関係団体との調整が必要となるなど、行政内部の議論のみで完結させることができない場合があり、一部の施設でも見直しが十分進んでいない現状にある。時限を定めてのスピード化を持った取り組みが必要であるということを重ね認識している。

公共施設総合管理計画の考え方、第2次総合計画に掲げる施策との整合性を保ちながら、施設の価値を高めるための取り組みを進めていく所存である。③南アルプスエコパークの情報発信のために、施設のリニューアルや

コンセプトを変更する必要はなく、管理運営についても施設ごとに適切な運営方法を選択して管理をしている。④シルバー事務局退所後の新たな運営形態を検討している。現段階では、「地場産業の振興及び地域活性化」、特にお茶を主体とした宣伝普及・研究調査・伝統文化の伝承を再確認し、お茶を主体とした地場産業振興の拠点施設として位置づけをしていきたいと考えている。飲食の提供については、今後の管理運営及び運営形態を検討する中で、必要があれば検討していきたいと考えている。飲食の提供の議論の前に、お茶を主体とした地場産業の振興、とりわけ茶の販売促進につなげる仕掛けをこの施設ではどのように展開するか、議論を進めていきたい。

公共施設総合管理計画の考え方、第2次総合計画に掲げる施策との整合性を保ちながら、施設の価値を高めるための取り組みを進めていく所存である。③南アルプスエコパークの情報発信のために、施設のリニューアルや



毎年秋に茶茗館で開催される「秋の夜長を楽しむ会」

⑤桑山の貯木場については、仕分け機能を持った土場として、森林組合大井川に運営をお願いする予定である。また、事務所等の施設については、十分活用できる状態であるので、林業に関する施設として整備していきたいと考えている。白沢温泉もりのいずみ、ウツドハウスおろくぼともに今後も指定管理による運営をし、町も連携を図りながら交流人口の増加に努めていきたいと考えている。

答

- 地域の自然・文化を施設の特徴を生かしてPR
- お茶を主体とした地場産業の拠点として直営で運営
飲食の提供は、必要があれば今後検討する
- 土場の管理は森林組合 その他は未定



芹澤 廣行 議員

◎旧本川根北小学校の今後の利活用について
◎県道接岨峡線から井川へのアクセス道路について

質問 現在廃校になっている奥泉地区の旧本川根北小学校の解体処分の考えはあるか。

町長 施設の有効活用について検討すると共に、有効活用に向けて財源確保について模索していきたいと考えています。

質問 北小学校の耐震工事、解体工事費用はどの位なのか答弁をお願いしたい。

町長 平成18年度に試算した結果、管理・普通教室棟については約7900万円、特別教室、屋内運動場棟については約4900万円、総額で約1億2800万円が必要になります。また、施設を解体する場合は管理・教室棟のみの解体については2600万円、特別棟のみの解体には約2500万円、全てを解体する場合は約5100万円が必要となっています。

す。以上の金額は耐震補強や解体経費のみで、これ以外に施設改修費や施設建設費が必要となります。このため、今後につきましても施設の立地条件なども考慮し施設の有効活用について検討すると共に、有効活用に向けて財源の確保について模索していきたいと考えています。

質問 井川閑蔵線の拡幅の必要性についてどのように考えているか。

町長 静岡市井川へ通ずる延長約6kmの唯一の道路です。又、昨年6月に、本町と静岡市を含む3県10市町村にわたる南アルプス地域が南アルプスエコーパークに登録されたこと、平成28年4月より消防救急業務が本町と静岡市を3市2町で広域化されます。このような川根本町と静岡市を取り巻く環境の変化に

より、市道閑蔵線の重要性は今後より増していききます。

質問 井川閑蔵線拡幅の為の自治体の計画状況について。

町長 静岡市では静岡市山間地域の道路整備計画を進めている。この計画において市道閑蔵線の整備計画は可能な限り現道の有効活用を図りながら、道路機能強化を図り1.5車線の道路整備計画となっております。この整備計画は比較的少ないコストでの施工が可能であり、効率的であり迅速な道路整備が期待でき、地域住民の生活の利便性をいち早く向上させることが可能であります。このような計画のもと平成22年度から整備が実施されており静岡市建設局から当該道路について、引き続き整備を実施していくというふうにつ

ております。

質問 川根本町、井川地区を含めて8千人強の人口しか存在しない現実の中で、水と森の番人の役割は可能か。

町長 平成27年度より2ヶ年をかけた総合計画を策定し、静岡市との連携を一層深め、井川地区と足並みをそろえて、地域の活性化を図っていきたいというふうに考えています。また、本町、静岡市、早川町も含めて協議会を立ち上げたいと考えています。

今後の活用が期待される
旧本川根北小学校（奥泉）



答

- 北小の有効活用については大変な経費が必要だが調整をしながら対応していきたい
- 市道閑蔵線の整備計画は平成22年度から実施されており、静岡建設局が引き続き実施していく



蘭田 靖邦 議員

- ◎若者定住住宅の成果
- ◎保育園、幼稚園、入園前の子育て支援
- ◎保育園待機状況
- ◎小中高連携の、これからの取り組み課題

問

質問 若者定住住宅について。

町長 町の定住人口増加と地域活性化を推進する目的で、平成17年度から若者定住促進住宅の建築を開始した。

平成20年度には16戸が完成し現在の入居状況は14世帯50人。これまでに延べ33世帯125人の方が若住に入居している。

質問 何のためにこの住宅を建設したか。本来の目的をさらに果たしてほしいが。

建設課長 建築行政の一面から、統合戦略の施策の一つに結婚・出産・子育てを支援し安定した家庭生活を維持できる環境整備という柱がある。定住関係の補助金の利用、町に住んでいただけるような形を新たな面で取り組んでいく。

質問 今後の地名保育園の有効活用は。

福祉課長 子育て支援施設等の整備が重要と

考えると答申をいただいた。よりよい子育て支援の施設となるべく子供・子育て会議の意見を伺いながら進めたい。

質問 町内での紙おむつを買う際の助成制度を。

福祉課長 他市町の事例をみると助成している所もある。いろいろな支援の方法があるが、将来の出生数なども勘案して検討していく。

質問 認定こども園と違った新しい形態の園の発足は。

福祉課長 平成18年度に導入された制度だが町立の保育園については保育所として継続、私立幼稚園、私立保育園については町として相談等の支援を行う。

教育総務課長 最初は幼稚園型認定こども園という話があったが、

施設整備にお金がかかるとの事、現在のところは施設型給付の制度をもつてやって行きたいと聞いている。

質問 町が中長期的に展開していかなくてはならない支援とは。

教育総務課長 子供が育つ町川根本町の実現のためのRG授業キャリア教育、また若者交流センター等々、町が一体となって子育てのしやすい町となるような施策を積極的に展開していく。

商工観光課長 前回の子供議会でも感じた事だが、他の町の人が川

根本町を良く知らないという意見があった。自慢できる資源の充実をはかり将来的な子供達の就労関係の創出は交流人口の増加をはかり町に移住、またはU・I・Jターンして新規事業を始めようとする

人に対し何らかの支援

を考えていく。

産業課長 主要産業のお茶・林業を子供のころから知ってもらう体験教室の開催を進めていきたい。

質問 通学路の崇徳橋から上長尾までの設置された街灯は夕方になっても一つ二つしか点

灯してないが何故か。**建設課長** 東日本大震災以降、電力に対するための措置です。町としては自転車通学時の事故防止のため、必要な箇所の道路照明灯を点灯するよう要望していく。

質問 子育て支援、子供の成長の環境のさらなる充実を盛り込んだ来年度予算に仕上げてもらいたい。

町長 具体的な提案もありましたので、早速吟味して対応できるように頑張りたいと思います。

答

- 住宅建設による子育ての環境整備は一応の成果
- 子育て支援事業計画に基づき、様々な施策を展開
- 9月1日現在、保育園待機児童数ゼロである
- 全て関連づけて一体的な教育として取り組む



「3町議会議員研修会」を開催しました

8月20日、森町町民生活センターにおいて、森町、吉田町、川根本町の3町の議会議員による研修会が行われました。研修会は「議会運営」「委員会・一般質問」「広報・議会報告会」の3つのテーマに分かれて行い、各議会の現状や問題点を説明後、様々な質問や意見が交わされました。

第1分科会 「議会運営について」

出席者：鈴木、森、芹澤、野口

・ 当町では昨年度の第1分科会で、全協の開催時期（定例会前の開催）と方法（上程予定議案の詳細説明とそれに対する質疑等）を他町の実例から見直し、6月定例会から実施（議運は定例会7日前に開催、全協は定例会初日の本会議終了後開催）している。

・ 吉田町は議案の委員会付託をなくし、本会議で議案審議を行っている。（予算、決算も同）当町や森町では新規条例や重要案件、予算決算は委員会へ付託している。

・ 森町は「行財政問題研究会」

（＝議

員の勉

強会）を

テーマ

を決め

て毎月

開催し

ている。

第1分科会



第2分科会



第2分科会 「委員会・一般質問について」

出席者：中田、山本、中澤、坂本

・ 吉田町では常任委員会を月に2～3回開催。また議案の委員会付託は行わず、全協で執行部からの説明、議員による論点整理後、本会議で審議する。

・ 当町の予算、決算特別委員会の審議日数は5日間で他2町から日数を取りすぎるのではないかとの意見があった。（本年度の決算特別委員会では3日間の審議を行った。）当町での常任委員会は所属以外の議員の出席（傍聴）や発言も可能との説明に、委員会に分かれる必要はないのではないかと意見があった。

※森町は、当町と同じように一般質問は、最終日に行なっている。

第3分科会 「広報・議会報告会について」

出席者：小藪、太田、根岸、蘭田

・ 3町とも議会広報紙を多くの町民に読んでもらうための試行錯誤、創意工夫を行っている。読みやすい文字数、見出しの重要性、写真やイラスト等による視覚に訴える紙面づくりが大切との共通認識を持った。

・ 議会報告会は、当町では本年7月に初開催。吉田町は年2回4会場テーマ別に4グループに分けて開催。行政も昨年からは行政報告会を開催するようになった。森町は24年度から開催、今年度は年2回（1回目は6月）実施予定とのことだった。報告会の参加者は自治会関係者、各種団体関係者が多く、若者や女性の参加者は少ないのが3町共通の課題だった。

・ 町民が行政や議会に関心を持ち、理解してもらうための広報紙作成や報告会開催が求められていると感じた。

第3分科会



議 会 日 誌

7月

- 2日 大井川下流域発電施設・浜岡原子力発電所視察
- 4日 南アルプス寸又口山開き・安全祈願祭
- 9～10日 議会報告会・懇談会
- 10日 上長尾バイパス開通式



議会報告会
(7/10山村開発センター)



好評だったトーマスフェアでの冷茶サービス
(8/27音戯の郷駐車場)

8月

- 4日、27日 トーマスフェアへ出店(冷茶サービス、観光PR等)
- 10日 子ども議会
- 17日 平成27年度県市町議会議員研修会(静岡市)
- 20日 3町議会議員研修会

9月

- 1日 平成27年第3回定例会開会(～30日迄)
決算特別委員会(15～17日)
- 12日 町内中学校スポーツ祭(中川根中・本川根中)
- 13日 町制施行10周年記念式典



町制10周年記念式典
(9/13文化会館)



約120名の議員が参加した5市2町研修会
(10/23川根高校セミナーハウス)

10月

- 21日 平成27年第3回臨時会
- 23日 志太榛原五市二町議会議長連絡協議会議員研修会
- 28～30日 町議会議員視察研修(徳島県)

12月 定例会の 日程

12/3日	木	12月定例会(初日)・全員協議会
9日	水	12月定例会(2日目)・議運・全協
18日	金	12月定例会(最終日)

○会場は全て川根本町役場本庁・3階です。○本会議はどなたでも傍聴できます。
○日程は変更することもありますので、詳しくは議会事務局(☎56-2229)まで
お問い合わせください。



私たち5人が「町の今」「議会の今」を
町民の皆様にはわかりやすくお届けします。

編集後記

カラスも飽きるほど真っ赤な実が沢山残った柿の木が目立ちます。気が付けば猛暑の夏はとっくに去り、肌寒い秋風に代わっています。

「光陰矢のごとし」
議会も2年が過ぎ、心機一転、専門の広報委員会を立ち上げ、◎中澤、◎鈴木、◎中田、◎根岸、◎坂本(◎正◎副委員長)の5人で、議会だよりやホームページを充実して、皆様の身近な議会になるよう情報公開に努めます。
ご意見・ご感想など、
どしどしお寄せ下さい。
(T・S)

《議会広報委員会》
委員長 中澤 莊也
副委員長 鈴木 多津枝
委員 中田 隆幸
坂本 英一
根岸 政司